

Q 46 将来の優秀な研究者を育成するためには、子どもたちが大学等で行われている最先端の研究に身近に触れることのできるような機会を用意することも大切と考えます。何かそのような取組をしているところはあるのでしょうか？

A 平成11年度に創設した、大学等の研究者グループと特殊法人の日本学術振興会が共催により実施する「ふれあいサイエンスプログラム」があります。

このプログラムは、我が国の将来を担う中学生や高校生に対して、大学等の研究者が、様々な実験や実習を通じて、最先端の研究に直接触れる機会を提供することにより、最新の学術研究への理解や興味を深めてもらうとともに、次世代の研究者の養成に貢献することを目的としています。

具体的な実施方法については、おおむね次のとおりですが、プログラムの内容は、それぞれのプログラムごとに異なりますので、日本学術振興会研究事業課ふれあいサイエンスプログラム担当へお問い合わせください。

なお、インターネット（<http://www.jsps.go.jp>）及びFAX情報サービス（03-3221-2470）により詳細を入手することもできます。

【平成11年度】

- ・実施件数 50プログラム（全国各地から選抜）
- ・実施期間 3日間程度  
（夏季及び冬季休業中若しくは土・日曜日）
- ・参加資格 全国の中学生・高校生  
（ただし、プログラムの全期間参加可能な生徒）
- ・募集人数 1プログラム当たり20名～40名程度
- ・募集方法 日本学術振興会が都道府県・指定都市教育委員会等の協力を得て、各学校に対し、参加者を募集
- ・参加費 無料（交通費、宿泊費、食費等は自己負担）
- ・照会先 日本学術振興会研究事業部研究事業課  
ふれあいサイエンスプログラム担当  
（電話番号 03-3263-1721代）

- \* また、同種の事業として、科学技術庁、科学技術振興事業団等が主催する「サイエンスキャンプ」もありますので、詳細については日本科学技術振興財団振興部サイエンスキャンプ'99事務局（電話番号 03 - 3212 - 2454）へお問い合わせください。



実験に取り組む生徒たち